

2026年2月

獨協大学法学部に合格された皆さんへ

獨協大学法学部長
大谷 基道

合格おめでとうございます
獨協大学法学部へようこそ

入学試験に合格された皆さん、おめでとうございます。

獨協大学法学部は、皆さんが将来の夢や希望を語り、生きるための知識や勇気を持ち、一人の独立した個人として世界に羽ばたくことができるように、皆さんのお手伝いをします。

法学部には、法律学科、国際関係法学科、総合政策学科の3つの学科があり、様々な能力を身につけられることができます。それぞれの学科で自分にあった道を探し出し、自分の可能性を伸ばしましょう。

自分の意思で法学部を選んだ皆さんが、法律や政治の専門用語を前に、頭を抱えたり、身構えてしまったりすることはないかもしれません。しかし、たった一人で法律や政治を勉強し、一定の成果を挙げることは並大抵のことではありません。

法学部では、「大学は学問を通じての人間形成の場である」という建学の理念に沿って、少人数教育を取り入れています。また、私たちは学生や父母・保護者と教員との距離が近い「あたたかな雰囲気のコミュニティ」を形づくるように心がけています。専任教員全員がクラス・アドバイザーとなり、学生が授業や大学生活、さらには将来についても自由に相談できますので、気軽に相談してみてください。

教員から直接身近に指導を受け、時には叱咤激励されながら、法学や政治学を学び、成長できることがこの学部の大きな魅力の1つです。

法学部でのまなび

(1) カリキュラムの特色 ― 歴史と伝統を踏まえつつ未来へ

獨協大学は1964年に開学し、法学部は1967年に設置されました。獨協大学の前身である「獨逸学協会学校」は、1883年に設立され、1885年には法律および政治の専門学科として専修科が設置されました。この獨逸学協会学校は、当時、ドイツ法を教える唯一の法律学校として「九大法律学校」の一つに数えられ、法曹界や官界に多くの卒業生を輩出しました。

法学部では、獨逸学協会学校の伝統を踏まえつつ、法学・政治学の基礎的知識の修得はもちろん、卒業後の進路に役立つさまざまな勉学の機会も用意しています。法科

大学院、各種資格試験、公務員試験等を目指す学生のため、学内にいながら外部の公務員試験・資格試験対策予備校の受験対策講座を割安で受講できる課外講座（「公務員試験対策講座」、「法律職対策講座」等）も開講しており、近年続々と公務員試験、司法試験、各種資格試験の合格者が誕生しています。

（2）弁護士、検察官、裁判官の立場を体験する

授業の一環として「模擬裁判」が行われることもあります。現実の事件を基にして作られた架空の事件が、学生の皆さんの手によって実際と同じように審理され、それに基づいて判決が下されます。模擬法廷教室において、皆さんの演じる被告人、弁護人、検察官、裁判官が展開する本物さながらの裁判ドラマである模擬裁判は、教員と学生とが一体となった共同作業により創られるものです。その教育効果はたいへん大きく、アメリカのロースクールなどでも早くから取り入れられてきています。

（3）社会の最前線を体験する

法学部では、各界で活躍している方々を講師としてお招きする「法政総合講座」を複数開講しています。その中でも、大学で学ぶ法学・政治学が実社会でどのように使われているのかを実感してもらうため、本学の卒業生に職場の生の声を届けてもらう主に1年生向けの科目「実社会における法学・政治学」を2022年度に新設し、大好評を得ています。ぜひ受講してみてください。

法学を学ぶ上で大切な、基礎的な体験学習として、刑務所や税関等の施設見学を行う授業もあります。また、法学部では個々人で出かける裁判所見学も推奨しています。実際の裁判の傍聴を通して、大学で学んだ知識を検証し理解を深めましょう。各施設見学への参加はリーガルマインド（法的なものの見方、考え方）を養うための手段として、たいへん貴重な体験といえるでしょう。

さらに、将来の職業を見据えたものとして、官公庁や民間企業でのインターンシップも実施されています。これを利用して就職を希望する職場で実際の業務を体験することは、皆さんが進路や学習の方向性を決めるのに大きな助けとなるでしょう。

（4）国際舞台で活躍できる語学力を身につける

国際舞台で活躍するためには、国際法や国際政治の知識だけでは十分とはいえません。事実上の国際公用語である英語をはじめとする外国語の能力も、必須なものの一つです。法学部では英語が原則必修になっているほか、第二外国語の授業や、外国語の文献を読む「外国書講読」、英語を用いて法学を学ぶ「特殊講義」も開講しています。それらに加えて、卒業単位外で外国語力を磨く英会話コースやネイティブ話者との会話の機会も多く設けています。「語学の獨協」のリソースを活用して語学力を高めてください。

また、獨協大学では、海外のさまざまな教育機関と留学協定を結んでいるほか、本学学生を対象とした各種の留学制度も用意しています。法学部の学生は、短期留学・長期留学いずれの場合も、留学先で取得した単位について一定の範囲で卒業単位への算入が認められるようになっています。

このような機会を用意することで、国際機関で働く国際公務員を目指す人はもちろん、国際 NGO やグローバル企業への就職を目指す人を支援しています。

(5) 地域の政治行政・政策の知識を身につける

法学部では、地域の政治行政・政策に関する専門科目も多く用意されています。2026年度からは学生の皆さんが自治体職員と一緒に地域課題の解決策を考える科目も開始されます。法学部には地元に戻って働きたい、地元に貢献できるような職業に就きたいと希望する学生が多数在籍しており、そのような学生がこれらの科目を多く受講しています。

このような地域に関する知識を幅広く身につけることで、都道府県や市区町村で働く地方公務員はもちろん、地域の経済を回す民間企業、地域振興を手がけるNPOなど、地域のために働きたいと考える学生たちに多様な進路の選択肢を提供しています。

(6) 授業や情報収集を通じてデジタルリテラシーを高める

法学や政治学を学ぶ上で、情報の収集、分析、活用等の技術は必要不可欠な要素です。法学部では、膨大な法律や判例、さまざまな出版物の中から必要な情報をすばやく参照できるよう、多くのデータベースを用意しています。また、2025年度からは今や企業や官公庁で必要不可欠なスキルとなった「データ分析」の授業も開講されています。さらに、2024年度からは学部横断的な「情報科学教育プログラム」が開設され、法学部生も参加することができるようになっています。獨協大学が得意とする「文系の専門知識」に、「理系のデータサイエンス・スキル」を新たにプラスすることで、文理両面に強く、社会の即戦力として期待される人物を育成しています。

法学・政治学は、一見難しそうに見えますが、実は人々の生活に関する事項を扱う身近な学問です。獨協大学法学部で法学・政治学をしっかりと学び、社会で活躍するために必要な知識や考え方を身につけ、大きく羽ばたきましょう！